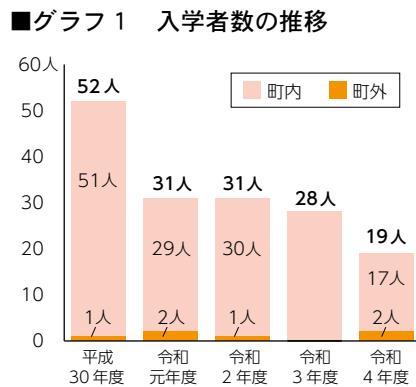




長崎街道沿いで花壇づくりを行う山高生。地域でのボランティア活動へ積極的に参加する姿が見られます

現在、県立山田高校は1学年1クラスの計3クラスとなつていて、県内では1学年3学級以下  
入学者の減少が深刻  
令和4年度は19人に



# “山田高校の魅力って何だろう”

町や関係機関と連携しながら地域課題の解決などに取り組む「ふるさと探究」の全国表彰をはじめ、ボート部のインターハイ出場など、このところ県立山田高校（晴山俊校長・生徒77人）の生徒らの活躍ぶりは目覚ましく、本紙でもその模様を紹介してきました。そんな活力と魅力を備えた同校でも、少子化を背景に入学者の減少問題が深刻化し

ています。入学者の確保につなげようと多種多様で主体的な学びを実践しながら、まちづくりにも貢献している同校のさらなる魅力向上への取り組みが求められています。本号では、同校を取り巻く現状や生徒の目線から見た学校の魅力などをお伝えしながら、町内に立地する唯一の県立小規模高校の今と未来を考えます。

下の「小規模校」に位置付けられています。クラスの数を左右する毎年度の入学者は、グラフのとおり年々減少。平成30年度に持ち直したもの、令和4年度は19人と大きく落ち込みました。

2年連続20人以下で  
原則公募停止対象に

り、統合に向けた協議が進められることになっています。

このため、令和5年度の入学者数の確保が大きな課題となる同校では、学校や保護者、地域関係者などで組織する学校運営協議会の場でも取り上げるなど、今後の学校運営の方針や魅力づくりの方策などの話し合いが進められています。

県教育委員会の「新たな県立高等学校再編計画」（後期計画）の基準では、直近の入学者が2年連続で20人以下となつた1学年1学級の高校は、原則として翌年度から募集停止の対象にな

る。県内では、全日制62校のうち30校が小規模校となつていて、少子化による生徒数の減少に伴

# 山高OBの声

私の母校である山田高校は今年で創立96周年を迎え、地域や地域産業を担う人材を数多く輩出してきました。地元に高校があるのとないのとでは、町の活気も違ってきますし、廃校は何としても避けたい問題ですね。

私は長年、ボート部のOBとして後輩たちの活躍を見てきました。年々減少する入学者数の影響で部員数も減りましたが、インターハイへの出場は40回を超え、各種大会では数々の優勝



山田高校同窓会長  
佐藤 宏光 さん(69)

## 素晴らしい学びの場のPRを

旗を手にしています。小規模校であっても、全国でも通用する力を持っているというのは、とても誇らしいことで同校の魅力の一つです。この魅力を町内外でボート競技に興味を持っている児童生徒にPRするほか、もっと学校に幅広く魅力を感じてもらう取り組みがあれば、他市町村、他県の児童生徒も山田高校を進学先の一つとして考えてくれるのではないかでしょうか。

親の目線で言えば、大学進学や就職などの将来の選択肢の幅を広げられる高校かどうかという点も気になるところです。近隣の進学校に比べると、国公立大学への進学こそ少ないので、確実に目標を達成していますし、そのための実力を伸ばせる学習環境があって、地域活動への参加や高校生議会での行政への提言など、生徒らの知見を広げる機会も多く設けられています。このような学習を通して身に付けた力は大学入試においても大きく評価されていると聞いています。地域に開かれた素晴らしい学びの場があり、これからも実績を積み重ねていくだけの力を持っている学校であるということを町内外のあらゆる世代に発信していけるといいですね。

創立100周年まであと4年。大きな節目をたくさんの方で迎えられるよう、これからも「山田高校を支える会」と力を合わせて、同校の取り組みを支えていきたいです。

## 特集 山田高校の魅力って何だろう

高校の特色化や魅力化が叫ばれる今日、県教育委員会が定める高等学校再編計画や、「いわての高校魅力化デザインfor 2031」では、将来的に地域や社会の担い手となる人材の育成が高校の持つ重要な役割とした上で、「主体的」「協働的」「探究的」な学びを全校共通の視点の一つに掲げています。各学校では、地域や関係機関との連携・協働による教育活動が今後、一層重要視されることから、魅力向上のための、さらなる特色ある取り組みが求められています。

### 多種多様な学び通し まちづくりにも貢献

山田高校では独自の特色化・魅力化ビジョンを掲げ、「ふるさと探究」やボランティア活動、他校との交流など多種多様な取り組みを進めています。山田高校の魅力を考えたとき、生徒らのこのような学びと実践が地域の活力となつて成果を挙げていることに着目しなければなりません。

例えば、オランダ島の島内避難訓練で貴重な所要時間の実測データを町側へ提供したり、高

い、さらに規模が縮小する学校が増えるものと見込まれています。こうしたことが、さまざまなものづくりなど、彼らが自ら考え実践したことが、さまざまなまちづくりの分野に生かされています。こうした町と連携した「ふるさと探究」を中心とする教育体制は、「第10回キャリア教育連携推進表彰」で優秀賞を受賞するなど、全国でも高い評価を得ています。

令和3年2月に結ばれた連携協定の下に町や地域と連携した教育活動を進め、地域の活性化に貢献している山田高校を支援しようと、町は令和4年度から「山田高校魅力向上応援補助金」(200万円)の交付を行うことを決めました。学校では、入学費用や修学旅行、芸術鑑賞の費用補助に充てるようです。

このような生徒への経済的支援も学校の大きな魅力の一つ。でも、このことだけで、すぐに効果が上がるとは限りません。子どもたちが「入りたい」と思う学校にするために、何が求められるのでしょうか。町内に立地する唯一の県立高校の生徒確保の問題は、地元にとつても重要な課題と言えます。

### 町は町内に立地する 唯一の県立高校支援

校生議会で提言した「学生応援宅配便」が新成人へ拡大されます。こうした町と連携した「ふるさと探究」を中心とする教育体制は、「第10回キャリア教育連携推進表彰」で優秀賞を受賞するなど、全国でも高い評価を得ています。

## 広報座談会

# 在学生3人が見詰めます

実際に通学している生徒の目線から見た山田高校の魅力って何なのでしょうか。11月11日に役場で開かれた広報座談会で、3年生3人が「私たちが思う学校の今と未来」をテーマに活発に意見を交わしました。出席者は中屋紹介君、川村優依さん、山寄大成君、進行役は、町政策企画課の芳賀大輔主事です。

# 私たちが思う学校の今と未来

## 入学した理由

徒步・自転車通学できること  
他校との交流が刺激に  
ボート部の姉の影響受け

芳賀 本町を含む宮古管内に

は、県立高校がいくつもありますが、皆さんのがその中から山田高校を選んだ理由は何ですか。

中屋 私が山田高校を選んだ大きな理由は「家から近い」からです。単純な理由のように感じたかもしれません、自転車で通える距離なので町外の高校に通うよりも交通費が掛かりません。朝早く登校したいときは早く、急がないときはゆっくりと起きることができて、自分で時間の調整をすることができました。これは地元校に通う大きな

メリットだと思います。

川村 私の入学理由は二つです。まず一つ目は、山田高校に



### 砂浜での熱戦「海の運動会」

毎年8月に浦の浜海水浴場で行われる「海の運動会」は、零石高校も参加し、熱戦を繰り広げています

通っていた知り合いの方が、私が目指す大学に入学したという話を聞いて、同じように進学したいなと思ったからです。もう一つは、山田高校に通っていた兄が、地域でのボランティア活動や八幡平市の平館高校、零石高校との交流行事のことを楽しそうに話すので、中学校の同級

生以外にも出会いの場があることを知つて安心したからです。

山寄 私は、姉が山田高校のボート部に所属していたこともあって、たくさんの大会に出場したり入賞したりと、活躍する姿を近くで見ていました。同じボート部に入つて自分も活躍したいという思いから山田高校を選びました。

芳賀 中屋君の言うように、徒步や自転車で通える距離だと、保護者にとっても経済的負担が少ないのでし、時間にゆとりができるというのも、地元校の魅力の一つです。川村さんや山寄君のように、身近な人から山田高校での学生生活の様子を見聞きする機会があると、入学後の楽しみができたり不安も和らいだりするかもしれませんね。



進行役・芳賀 大輔  
(町政策企画課主事)



中屋 純介君(3年)

後楽地区出身。中学は卓球部、高校ではボート部に所属。大好物はアイスやケーキ。



川村 優依さん(3年)

長崎地区出身。中学、高校は陸上部に所属。オムライスやハンバーグなどの洋食好き。



山崎 大成君(3年)

船越地区出身。中学はサッカーチーム、高校ではボート部に所属。大好物は母の手料理。

**芳賀** 皆さんに印象深かった活動を教えてください。  
**中屋** 私はボート部での活動が思い出深いです。選手として、インターネットハイにも出場できるほど力を身に付けることができましたし、合宿や大会への参加を通じて、多くの方々に支えられて自分たちが活動できることに気付くことができました。心も体も成長できたと思います。  
**山崎** 私も中屋君と同じボート部での活動です。引退するまで仲間と過ごす時間がとても楽しく幸せでした。練習や合宿は、厳しいメニューばかりでしたが、目標に向かって励まし合いながら乗り越え、仲間の大切さを実感しました。

**川村** 私は、NHKが主催した次世代への震災伝承を考える「TENDENKOクラブ」の活

**芳賀** 皆さんが過ごしてきた学校生活の中で印象的な活動や思い出深い活動はありますか。  
**中屋** 私はボート部での活動が思い出深いです。選手として、インターネットハイにも出場できるほど力を身に付けることができましたし、合宿や大会への参加を通じて、多くの方々に支えられて自分たちが活動できることに気付くことができました。心も体も成長できたと思います。

**芳賀** 在校生から見て、他校にはない山田高校の特色や魅力はどういうところでしょうか。

**中屋** 每年、浦の浜海水浴場で行う「海の運動会」は地元の自然環境を生かした特色がある行事で魅力的だと思います。砂浜で行うビーチフラッグやフットサル、海上でのカヌー競争などがあります。零石高校の生徒も参加するので、より楽しいです。

**川村** 私も同じ意見です。冬には零石高校の「雪上運動会」に招待されるので、運動会を通じた交流をしているというのも魅力だと感じています。

**山崎** 私は、初心者でも結果を残せるボート部が魅力だと思います。山田湾や艇庫などの練習環境も整っていて、入部する生徒はみんな初心者にもかかわらず、インターネットハイに40回以上も出場している実績があるのは素晴らしいことだと思います。

## 在学中の印象深い活動など 小学生に行つた防災授業



動です。高校生が船越小学校の子どもたちに授業を行い、津波の恐ろしさや命を守る行動など

災伝承の活動は、被災した現地を見たり経験者の話を聞いたりと、被災地の高校だからこそ、できる取り組みだと思います。  
**芳賀** 2人のように仲間とボート競技に熱中できる環境は魅力と言えますね。川村さんの震

災伝承の活動は、被災した現地を見たり経験者の話を聞いたりと、被災地の高校だからこそ、できる取り組みだと思います。  
**芳賀** 2人のように仲間とボート競技に熱中できる環境は魅力と言えますね。川村さんの震災伝承の活動は、被災した現地を見たり経験者の話を聞いたりと、被災地の高校だからこそ、できる取り組みだと思います。

## 特集 山田高校の魅力って何だろう

### 他校にはない魅力 砂浜で行う「海の運動会」 結果残せるボート部

**川村** 私も同じ意見です。冬には零石高校の「雪上運動会」に招待されるので、運動会を通じた交流をしているというのも魅力だと感じています。

**山崎** 私は、初心者でも結果を残せるボート部が魅力だと思います。山田湾や艇庫などの練習環境も整っていて、入部する生徒はみんな初心者にもかかわらず、インターネットハイに40回以上も出場している実績があるのは素晴らしいことだと思います。

## 入学者が減る理由

### 学校からの情報発信不足 出会いと部活動の少なさ 少子化が大きな要因

芳賀 もうすぐ創立100周年を迎える山田高校ですが、皆さんも知っているとおり、現在、入学者数は減つてきています。

中屋 その理由は何だと思いますか。

中屋 年々後輩の人数も減り、部活動の数も減つてしまつても寂しいです。入学者が少ないのは学校の「魅力不足」と「情報発信不足」だと思います。

川村 中屋君の言う魅力不足にもつながりますが、入学後の「新しい出会いがない」・「部活動が少ない」ことも要因だと思います。現在、運動部は六つで文化部は二つとなりました。部員も少ないので、十分な活動は望めないという理由から他校に進学する人も多いようです。「部活動の充実」というのも進学先

を考えるときの大きな要素になっていると思います。

山崎 私はそもそも、「町内の子どもが減つている」ことが要因だと思います。少ない人数から町外の高校に分散するので、その中で山田高校を選ぶ人は当

然少くなるのかなと思います。

芳賀 これまでの山田高校の取り組みや3人の話を聞いてみると、十分に特色はありますし、魅力は多いと感じます。ただ、少子化の状況を踏まえた魅力の発信が必要ですね。

## 入学者を呼び込む取り組み

### SNSでの情報発信が効果的 中学生との交流の場を増やす 男子トイレの洋式化

芳賀 県内の小規模校では、入学者を増やす取り組みが進められているようです。中学生を山田高校に呼び込むためには、どのような取り組みや対策が必要だと考えますか。

川村 私は、町内外に向けたSNSでの情報発信が効果的だ

と思います。ホームページのように見に来てもらう情報ではなく、随時手元に届くような情報だと、山田高校を知つてもらう機会が増えると思います。

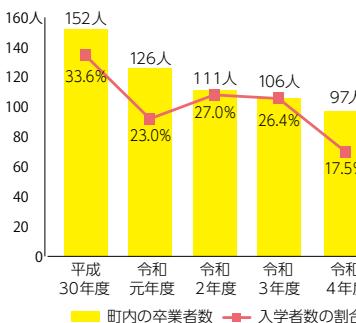
山崎 中学3年生に焦点を当てた情報発信も必要ですね。今

年7月に行つた体験入学では、山高生が中学生に山田高校の魅力を伝える交流会を設けました。こういった在校生の声を聞くことができる場をどんどん増やしていくつ、魅力を伝えていくといいと思います。

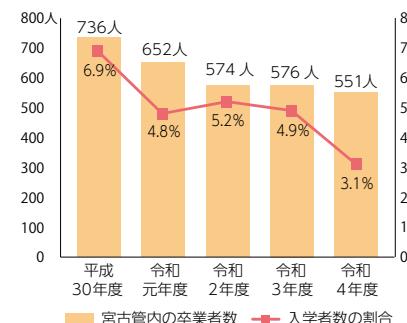
川村 ちなみに体験入学会で多かった質問は「校則」で、髪型の許容範囲とかを気にする人が多かったです。「校則」を公表してみるのも、進学先を考えるときの参考になると思いました。

■グラフ2 町内・宮古管内の中学校卒業者数に占める山田高校入学者数の割合  
(中学校卒業者数は、県教育委員会資料から)

◎町内



◎宮古管内



## 生徒主体の体験入学会

グループに分かれ、山高生が魅力や学校生活を紹介。中学生の素朴な質問にも優しく答えます

**中屋** 私は「トイレ環境」も進路選択の要件になると感じています。山田高校の男子トイレは和式しかありません。体験入学会で男子トイレを利用した中学生は、和式しかないことを知つてがっかりしています。なぜなら、山田中学校は洋式だからです。若い人ならこの気持ちが分かりますよね。なので私は「トイレの洋式化」も入学生を増やす対策の一つだと考えます。



### 若者視点で提言する「高校生議会」

「ふるさと探究」の学びの集大成「高校生議会」。若者視点で捉えたまちづくりへの提言が行われます

いしたところです。このように、まちづくりに自分たちのアイデアが反映されるというのは、どうに感じていますか。

**中屋** 地域に貢献している実感が湧いて、とてもうれしいです。

**川村** 今回のメニュー考案もそうですが、町の特産品や特徴などを見詰め直す貴重な機会だと思っています。今回の私のアイデアも採用されるといいな。

**山崎** これからも山田高校の生徒たちが若者視点でのアイデアを地域に提供できる存在であり続けてほしいですね。

## 応援したい未来への取り組み

ご意見をいただきました。

お話を聞き、在校生が課題として受け止める「出会いや部活動の数が少ないこと」といった点への取り組みとしては、「他校との交流事業」や「初心者でも活躍できるボート部」などの魅力を高め、その魅力を生徒自らがPRしていくことが大切ではないかと感じました。

山田高校が皆さんの願う学校像であり続けるために、みんなで学校の取り組みを応援していきたいのですね。きょうはありがとうございました。

**芳賀** 皆さん、来年3月に本校を卒業します。最後に皆さんが願う「未来の山田高校の姿」をそれぞれ聞かせてください。

**中屋** 山田高校は、もうすぐ創立100周年を迎える伝統ある高校です。その伝統を引き継ぎながら、高校生議会でのまちづくりへの提言や震災伝承の取り組みなどで地域に貢献する高校であつてほしいです。

**川村** 私は、卒業生が進学や就職で地元を離れて何年か経つた後でも、後輩たちを応援してもらえるような親しみやすい高

校になることを願っています。

**山崎** 部活動や学校行事などが十分に行える規模になるよう、どうにか入学者を確保して、生徒が活躍する場が多い学校になつてほしいです。それから、これまでのような地域に目を向けた取り組みも続けて、町民の皆さんからも親しまれる学校となることを願います。もちろん「山田高校ボート部」の名が全国に知れ渡るように、もっともつと活躍することを期待しています。

**芳賀** 「地域に貢献」という言葉が出てきましたが、先日、山

### 特集 山田高校の魅力って何だろう

**芳賀** きょう参加していただいた皆さんからは、▼通学費用の抑制や通学時間の短縮▼他校との交流行事を通じた交友関係の広がり▼地元の自然を生かした「海の運動会」などの学校行事▼まちづくりへの参加——と

いった点が山田高校の持つ魅力として挙げられました。その上で、入学生を増やすためには、

▼中学生に直接魅力を伝える交流の場を増やすこと▼町内外へ情報発信すること▼学校生活を過ごしやすくするための環境づくりを行うこと——が必要との

ご意見をいただきました。

お話を聞き、在校生が課題として受け止める「出会いや部活動の数が少ないこと」といった点への取り組みとしては、「他校との交流事業」や「初心者でも活躍できるボート部」などの魅力を高め、その魅力を生徒自らがPRしていくことが大切ではないかと感じました。

山田高校が皆さんの願う学校像であり続けるために、みんなで学校の取り組みを応援していきたいのですね。きょうはありがとうございました。